

◇ 光プロジェクト 医学部医学科進学支援「小論文特別演習」

日時 ○ 令和3年2月13日(土) 17:00~18:30

○ 3月12日(金) 19:00~20:30

参加者 11名(2年生2名、1年生9名)

場所 各生徒の自宅(オンライン Live 講座)

講師 北村 暁(きたむらさとし)先生(富士学院)

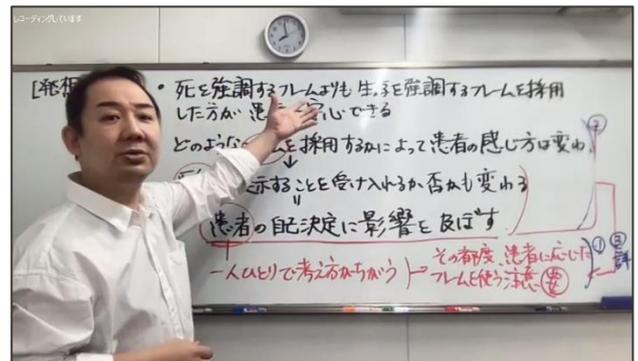


今年度も、医学系予備校の「富士学院」東京御茶ノ水校のご協力をいただき、医学系大学の個別試験を想定した小論文の問題演習を実施しました〔オンライン Live(Zoom)にて実施〕。

講師は昨年度に引き続き、北村 暁 先生をお招きしました。先生は、各種予備校での国語および小論文講座や、Z会の「東大国語特訓」などを担当されるなど、豊富な経験を有するエキスパートであり、また小論文のみならず国語の学習方法講演会でも何度かご来校いただいているお馴染みの先生です。

今回も第1回の講義を受けて生徒が小論文を作成し、北村先生の添削結果を受け取って、それをもとに第2回を行うという形式で実施しました。

オンラインとはいえ、自らに足りない部分を確認し、考えながらの学習を実現することができ、個別指導に近い良い意味で「密」な指導をいただくことができました。



北村先生、そして富士学院東京御茶ノ水校の皆様、まことにありがとうございました。

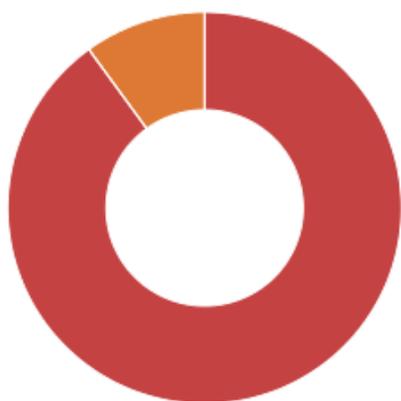
<生徒のアンケートから> (抄)

設問 1 あなたが今回の事業に参加した目的は何ですか。

- 小論文を書く練習になって、また、医療のことを深く考えるきっかけになると思ったから。
- 医療関係に進む場合の小論文対策を知りたかったから。
- 医系に特化した小論文対策ということで、大学の小論文の傾向などを知ることができるということで興味を持ったから。
- 医学部の小論文の問題を体験したり、添削を受けたかったから。

- 医療系の仕事に興味があったのと、小論文の書き方を学びたいと思ったからです。医療系に進まないとしても、この講義に参加することで今後に役に立つと思い参加しました。
- 医学系の大学に進むための小論文の知識を身につけるため。

設問2 今回の事業への参加は、あなたにとって意義がありましたか。



○	選択肢1	9人(90.0%)	大いに意義があった。
○	選択肢2	1人(10.0%)	意義があった。
○	選択肢3	0人(0.0%)	どちらとも言えない。
○	選択肢4	0人(0.0%)	あまり意義を見出せなかった。
○	選択肢5	0人(0.0%)	意義を見出せなかった。

設問3 今回の事業の感想があれば記述してください。

- 自分の小論文を細かく採点して頂いたおかげで、何がいけなかったのかがわかった。書く時のポイントを学べた。
- 構成について自分の知らないことがほとんどで、たくさんを知ることができてよかったです。
- 丁寧に教えて頂きありがとうございました。またの機会があればよろしくお願いします。
- お忙しい中、2日間に分けて講義をしていただきありがとうございました。今までなんとなく小論文を書いていましたが、これからは先生に教えてもらったことをしっかり考えながら取り組んでいこうと思います。一人一人の小論文を細かく採点して頂けたのがとても嬉しかったです。
- 書く内容ではなく、書き方についてもいくつかアドバイスを頂けたのでよかったです。また機会があったら参加したい。
- 私はいつも小論文をかくときにあまり何も考えずに自分の思うままに書いていたのですが、今回の講義を受けて、しっかり構成を考えることで相手に伝わりやすく自分でも書きやすい小論文の作り方を学ぶことができました。文を読んでいくうえで大切なことや、注意すべきこと、共通テストについて知ることが出来て良かったです。今回学んだことを今後の勉強に活かして行きたいと思います。